

<第2次総合計画進行管理表> 施策評価表

1. 基本事項

作成日 令和6年6月21日（金）

施策		道路・交通環境整備の推進		期間	令和5年～令和9年	施策担当部課名	都市整備部	都市計画課
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	目的・対象	道路整備を計画的に行うとともに、パトロールや橋りょうの点検により、適切に維持管理を行い、誰もが安全で快適に利用できる道路空間を確保していくことを目的とする。			
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進					
	主要プロジェクト							
重要度・満足度		安全かつ快適な道路環境への市民の重要度は高く、逆に満足度は低い状況となっている。			施策推進のための主な取組			
施策を取り巻く社会状況等		高度成長期に建設された施設の老朽化に加え、気候変動、大規模地震の発生リスクに対しても安定的に機能する道路ネットワークのあり方が問われており、道路整備や維持管理体制の充実が求められている。						

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標	日常の道路利用に特に不便を感じていない市民の割合	%	44.90	49.30	49.60	49.90	50.20	50.50
	市民まちづくりアンケート		49.90	51.30				
	道路・橋りょう維持管理上の事故件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	管理瑕疵により保険適用となった市管理道路の事故件数		2.00	3.00				
	道路維持管理上の通報件数	件	-	845.00	828.00	811.00	794.00	778.00
	市民からの道路維持に関する年間通報件数		899.00	897.00				

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	拡充	1. 現状維持 2. 拡充 3. 縮小
道路利用についての市民満足度は目標を上回ったが、維持管理上の事故や苦情件数は目標に達しなかった。苦情件数の増加が著しい背景には、コロナ禍が続いた社会情勢のなか、市民に限られた地域での生活を求められているなど、地域の細部についても要望が寄せられるようになったことが想定される。そのため、引き続き社会情勢に注視するとともに、道路や橋りょうの適正な維持管理及び迅速な修繕に努める必要がある。		
		評価者 都市計画課長 武田 直樹

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
■ 既存事業の拡充	・市内全域にわたって舗装の老朽化が進んでいる。そのため、予防保全を考慮した計画的な修繕を実施していく。 ・橋りょうについては安全性を確保するための定期点検を継続し、補修の必要があるものについては迅速かつ確実に補修を行い、長寿化を図っていく。対象となる工事の補助金内示率が低いため、国県に強く要望を進める。
□ 事業の新規立案	
□ 事業の廃止・縮小	
□ 事務事業の再編	
□ その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

今後も道路管理者として安全で快適な道路環境を確保していくため、予防保全を考慮した計画的な修繕及び整備を実施していくことが重要である。また、橋りょうについては、長寿化計画に基づく計画的な対応が重要である。経費については、適切に工事費を算出し、必要な予算確保により安全性の確保に努めていく。	
所属長	都市整備部長 吉田 稔